

ロボコン2013近畿地区大会

優勝&準優勝を独占!

電子制御工学科4年 揉井 雅紀

10月13日、四條畷市市民総合体育館にてアイデア対決・全国高専ロボットコンテスト2013近畿地区大会が開催されました。

今年の競技課題「Shall We Jump?」は生き物を模した2台のロボットと3人の高専生が協力して大縄跳びに挑戦するという内容です。昨年に引き続きコントローラなしで競技を行います。また、近年はロボットと人がコミュニケーションをとり、ともに楽しむといった、ロボットと人の関係性も重視されるようになりつつあります。

Aチームは準決勝にて107回の連続ジャンプを繰り出し、相手チームを圧倒して見事に決勝へと駒を進めました。Bチームは1回戦、2回戦とパフォーマンスを披露しつつも確実に勝ち進み、準決勝で



Xboxer-One (エックスボクサーワン)のロケットパンチ

は和歌山高専Aチームと戦いました。2回戦において39秒というタイムでゴールした強豪チームでしたが、準決勝以降は連続



同校対決となった決勝戦

ジャンプの回数勝負となるルールにより、僅差で勝ち進むことができました。

そして2011年に続く2回目の快挙となった同校決勝戦では速さを追い求めたAチームの勝利となりましたが、パフォーマンスを追い求めたBチームも全ての機能を披露し、最高の決勝戦を演出することができました。

優勝したAチームは全国大会への切符を手にし、惜しくも準優勝となったBチームも多くのお褒めをいただくことができました。現在は奈良高専初の全国優勝を目指して両チーム一丸となって努力しています。

最後になりましたが、今この地点に到達するまでに先生方や先輩方、多くの方のご支援、ご協力がありましたことを、この場を借りて心より御礼申し上げます。

プロコン本選出場!

情報メディア教育センター マルチメディア担当副センター長 本間 啓道

全国高等専門学校第24回プログラミングコンテストが平成25年10月13日(日)～14日(月)、旭川高専主管で旭川市民文化会館にて開催されました。

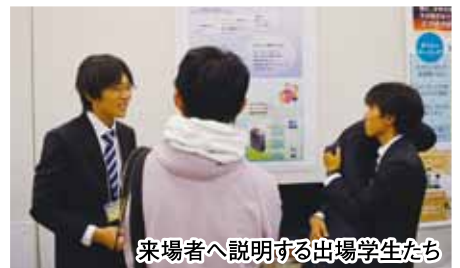
本校からは予選を通過した課題部門、競技部門に各1チームが出場し、課題部門は敢闘賞、競技部門は1回戦6位の結果を残しました。

課題部門のテーマは「ICTでサポートする明るい少子高齢化社会」で、本校のチームは「iMakura」と題して、抱き枕に各種センサーを搭載し、健康管理に役立たせるものを出品しました。後一步で企業

賞という惜しい結果でした。

競技部門のタイ

トルは「じょびん通信 ～ダイスキな人に伝えてくだサイ～」でした。「じょびん」とは北海道の方言で、鍵のことを指します。競技内容はサイコロを通信媒体に用いて、与えられた文字列を暗号化して通信するというものでした。結果は残念ながら1回戦6位、敗者復活戦でも9位と準決勝進出はなりませんでした。



来場者へ説明する出場学生たち

第47回高専祭

第47回高専祭実行委員長 物質化学工学科3年 今中 三朗



11月9日(土)と10日(日)の2日間にわたって高専祭が行われ、無事に終了することが出来ました。2日間あわせて約2,000人という大勢の方にお越し

いただき、とても盛り上がる高専祭となりました。お越しいただいた皆様、また高専祭にご協力いただいた全ての学生及び教職員の



方々、本当にありがとうございました。

今年の高専祭は当初、学校内の工事の影響により開催が危ぶまれる時期もありました。しかし、学生主事、主事補の先生方をはじめ、多くの方々のご協力により無事開催することができ、さらには高専祭全体を通して大きな事故もなく終えることもでき、感謝と喜びの気持ちでいっぱいです。特に印象に残っている場面は、2



日目に花火を打ち上げる際のカウントダウンに対して、学生たちが声を揃えてカウントしてくれていた場面です。僕はこの光景を見ることができて、本当に最高の高専祭を開催できたと思いました。

来年の高専祭は、今年の実省を生かしさらにより良い高専祭にしていこうと思っていますので、よろしくお祈りします。

